

3月9日：VN 指数は2年ぶりの安値へ

国内株式は大きく下落、新型コロナウイルスへの蔓延が世界で広がったことでパニック売りとなった。

ホーチミン取引所のVN 指数は2年ぶりの安値である835.49ポイントで取引を終えた。55.95ポイント値下がりし、率にして6.28%であった。368銘柄が下落し、34銘柄のみがかろうじて上昇をした。

VN30 指数は6.35%安となった。23銘柄がストップ安となった。ビナミルク (VNM)、ビンホームズ (VHM)、BIDV 銀行 (BID) が指数の下落に大きく寄与した。

いくつかの小型株が下落トレンドに逆行をした。AMD はストップ高の3270ドンで取引を終え、出来高は2060万株となった。QCG も8営業日連続のストップ高となり6380ドンで取引を終えた。出来高は1310万株であった。

アジアの多くの株でも下落、日経225 指数は5.7%安、韓国のKOSPI は4%安、中国ハンセン指数は3.5%安、オーストラリアS&P/ASX 指数は6%以上の下落となった。11万人近くの人々がウイルスに感染し、3800人ほどが死亡した。ベトナムでは保健省は感染者数が31人に増加したと発表。直近2週間は16人から増加していなかった。

証券会社によると、ベトナム株は新型コロナウイルスへの懸念によってベトナム株は大きく下落したとのことである。新型コロナウイルスの蔓延が世界経済に影響を与えており投資家のリスク資産への投資から回避させている。投資家は金や国債などの安全資産へ資金を向かわせている。

VN ダイレクト証券の Nguyen Trang Du 氏によると、新型コロナウイルスの世界での蔓延が相場の重荷となっているとのことである。

市場心理は新規感染者が報告されて以降、不安定となっている。現時点では力強い反発は見込めないと語った。

ハノイ取引所のHNX 指数は6.43%安となり、106.34ポイントで取引を終えた。アジアコマーシャル銀行 (ACB) が出来高1670万株でトップ、先週金曜日に比べて7.9%安の23300ドンで取引を終えた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。